快　適　な　住　空　間　を　め　ざ　し　て

ALIA

Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）は、
住宅設備および建材に関わる企業・団体で構成される法人です。
快適な住空間の提供をめざし、
調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいます。

一般社団法人リビングアメニティ協会

ご挨拶

一般社団法人
リビングアメニティ協会　会長

喜多村　円

一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）は、優良住宅部品（BL部品）の開発・普及促進のため1976年に創設されたBL推進協議会を、1990年10月に発展的に改組して誕生し、2012年4月より一般社団法人化いたしました。

当協会は住宅設備および建材に関わる企業・団体によって構成し、「優良な住宅部品の普及により快適な住生活の改善を図る」という設立目的に沿って、機能的で良質な住宅部品の供給促進と快適な住空間作りのための調査研究及び情報交換を推進しています。

昨今の住宅関連の情勢においては、従前からの課題である、少子高齢化・人口減少の急速な進展、省資源・省エネルギーの推進、リフォーム・既存住宅流通等のストック活用型市場の活性化、などに加えて、働き方の多様化やウイルス感染症への対応としての住宅・住宅設備機器の機能拡充など、「あたらしい生活スタイル」への対応が求められています。「あたらしい生活スタイル」は、家族との共有時間をより豊かに快適に過ごす空間のあり方や価値観の変化を生み、住宅関連企業・団体はその価値観の変化を汲み取り、これからの住まいや住まい方を支えるために必要な機能、住宅部品の果たすべき役割を考えてゆく必要があります。

当協会としては、地球環境の保全と節電を含めた省エネへの対応において、住宅部品のさらなる性能向上や省エネルギー化を推進してまいります。住宅の温熱環境が健康に与える影響や、ヒートショック防止などリフォームによる快適な暮らしを身近に感じてもらえる啓発活動を通じて、リフォーム需要の顕在化につなげるとともに、より良質な住宅ストックの形成を推進してまいります。「あたらしい生活スタイル」の浸透とともに創出、進化する新たな技術・サービスの実現や、住宅部品の機能安全性の確保にも取り組んでまいります。

また、快適な住生活においては、住宅部品や設備を長く良好な状態で使用いただくことが重要です。当協会では、10月10日を「住宅部品点検の日」に制定しております。「いいものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」社会への移行を提案しており、住宅部品・設備を安全、安心に使用していただくとともに、点検、補修、適切な時期での取替えを当たり前にする風土づくりに取り組んでまいります。

当協会は「住宅部品の普及により豊かな住環境をつくる」という理念のもと、今後も国土交通省ならびに関係諸団体と連携し、これまで以上に会員企業・団体の皆様にとって価値ある協会、社会に必要とされる協会を目指してまいります。皆様方のますますのご支援、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、より多くの企業の積極的なご入会と活動への参画を期待しております。

活動内容

■優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究
■住宅部品の機能、性能に関する調査研究
■優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等
■住宅部品の供給（流通を含む）や施工に関する調査研究
■住宅部品の使用、利用に関する調査研究
■住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発
■政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等

委員会活動内容の紹介

- 総　会
- 理　事　会
- 運営委員会
  - 事業企画部会
  - 広報部会
    - ALIA NEWS 編集委員会
    - WEB 企画・管理委員会
    - イベント WG
  - 専門部会
    - 消費者・制度部会
    - 環境部会
    - リフォーム・施工部会
    - 住宅部品点検推進部会
      - 点検普及ビルダー対応委員会
      - 点検普及消費者対応委員会
      - 業界連携委員会
      - 住宅部品点検研究委員会
  - 窓の熱性能審査委員会

空間等別部会	部品別委員会
トイレルーム部会	洗面化粧ユニット委員会 温水洗浄器委員会
バスルーム部会	浴槽委員会 浴室ユニット委員会
リビングルーム部会	階段・はしご段委員会 内装システム委員会 内装ドア委員会
キッチンルーム部会	キッチンシステム委員会 調理用加熱機器委員会
住宅情報部会	住宅情報システム委員会 テレビ共同受信機器委員会 火災・ガス警報委員会
給湯・暖冷房部会	ガス給湯委員会 石油給湯委員会 電気給湯委員会 暖冷房システム委員会 ソーラーシステム委員会
開口部会	スチール部品委員会 手すり合同委員会 補助手すり委員会 断熱型サッシ委員会 アルミサッシ委員会
外皮部会	
共同設備部会	給水ポンプシステム委員会 給水タンク委員会 エレベータ委員会
アウトドア部会	屋外収納ユニット委員会 郵便受箱委員会 宅配ボックス委員会
換気・配管システム部会	換気ユニット委員会 配管システム委員会

●専門部会

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

●空間等別部会

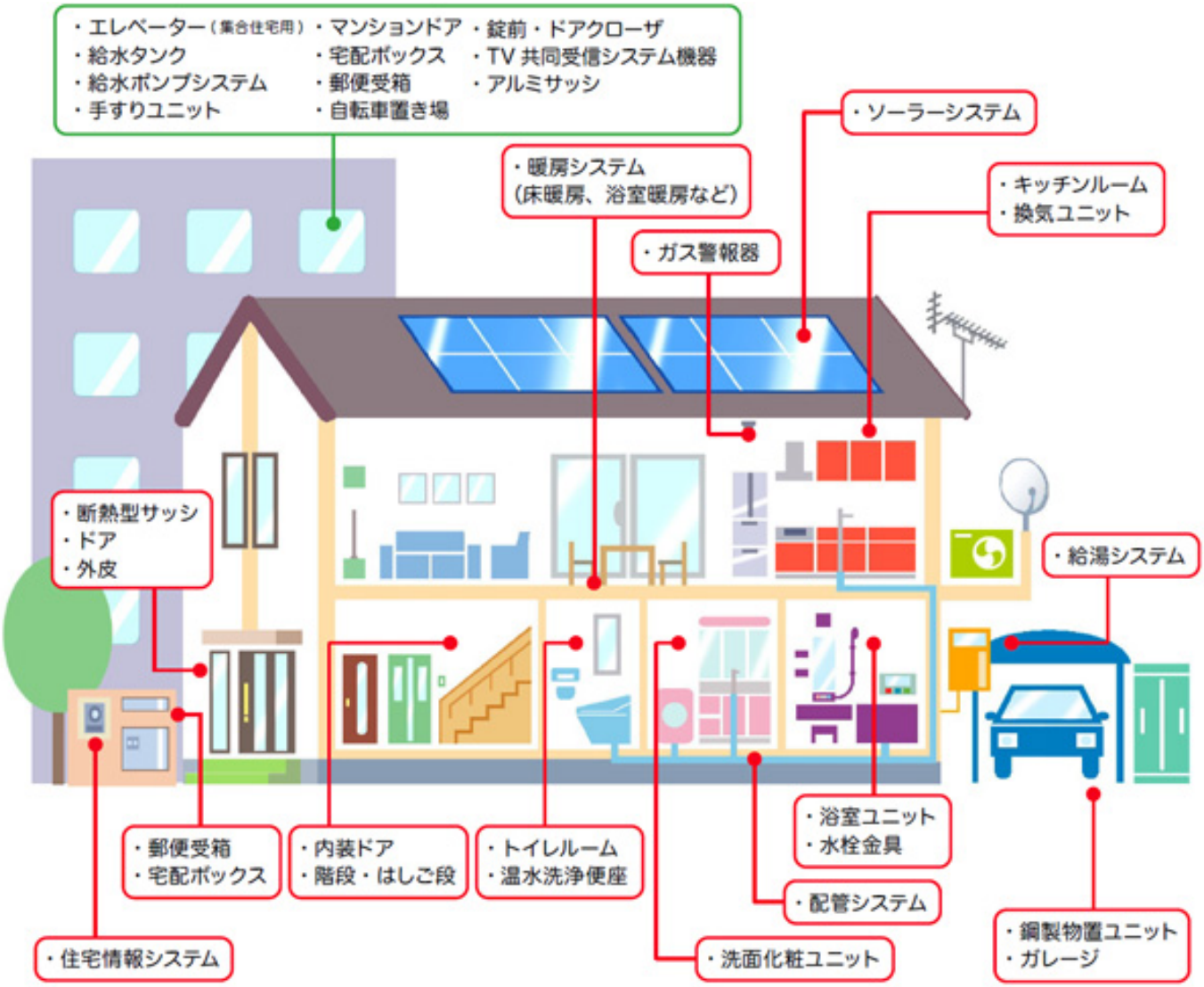
バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社のレベルアップをはかるのにとても有効な活動を行っています。

アメニティCafe

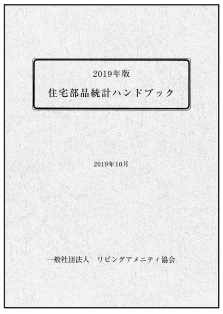
住宅部品や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

詳細はホームページにて

アメニティCafe　検索



出版物等



●住宅部品統計ハンドブック

●自分で点検！ハンドブック

●施工ガイドライン

- ●住宅部品の自主点検表
- ●内装建材の警告表示に関するガイドライン
- ●住宅部品VOC表示ガイドライン
- ●換気設計事例集
- ●デジタル放送対応テレビ共同受信機器システムカタログ

住宅部品点検の日

長期に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に住宅部品の点検活動に関する記載の充実を進めています。一方で、広く国民の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的とする「住宅部品点検の日」(10月10日)を制定しました。

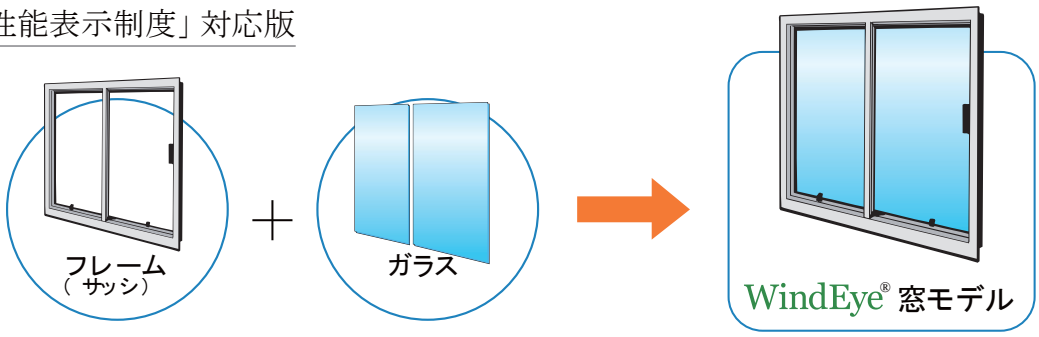
制定宣言については こちら をご覧ください。

(https://tenken1010.org/residentialpart-check/)

窓の総合熱性能評価プログラム

WindEye® で窓全体(フレーム+ガラス)の熱貫流率(U値)を任意の窓サイズで計算可能 ➡ 「窓の断熱性能表示制度」に対応できます

「窓の断熱性能表示制度」対応版



WindEye®の特長

- フレーム、ガラスを一体として評価しています
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです
- 新しい情報を皆様にご提供していきます
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます
- ALIAのホームページから無料でご利用できます

●窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEye(「窓の断熱性能表示制度」対応版)を開発しました。個別の製品であるサッシ、板ガラスを任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。次世代省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるサッシ、板ガラス、ブラインドを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの表示性能の拡大、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、より多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。

一般社団法人リビングアメニティ協会

〒102-0071　東京都千代田区富士見二丁目7番2号
ステージビルディング　6階

TEL.03-5211-0540　　FAX.03-5211-0546
ホームページアドレス: http://www.alianet.org

●電車でのアクセス

JR飯田橋駅　東口・西口　徒歩3分
東京メトロ南北線 有楽町線 東西線
都営大江戸線飯田橋駅　A4出口　徒歩2分